

## 2) 漢方方剤による抗癌剤副作用の軽減ならびに 発癌抑制作用の検討

国立南和歌山病院(1) 新宮市民病院(2) 和歌山県立医科大学(3) (泌尿器科)

戎野庄一(1) 渡辺俊幸(2) 大川順正(3)

以下の点などについて述べたい。

- 1 マウスを用いたシスプラチンの毒性軽減効果に対する十全大補湯の効果：C3H/He雄性マウスにおいて十全大補湯の投与によって、シスプラチンのLD50を増加させた。
- 2 マウス膀胱癌に対するシスプラチンと十全大補湯の併用効果：C3H/He雄性マウスの大腿皮下にマウス膀胱癌(MBT-2)を接種し、腫瘍増殖や生存率を検討した。その結果、シスプラチンと十全大補湯の併用で生存率は著明に延長したが、腫瘍増殖の抑制についてはわずかの効果しか示さなかった。
- 3 免疫抑制条件下のマウスにおける十全大補湯の投与にともなう免疫能の変化：抗癌剤の投与、担癌状態および老齢の状態を免疫抑制状態と考え、十全大補湯の投与での免疫能低下の抑制効果を抗体産生能およびNK活性で検討し、十全大補湯の投与で免疫能の低下を抑える可能性があることを認めた。
- 4 癌化学療法に対する十全大補湯の投与の臨床的検討：泌尿器科領域の癌化学療法患者に十全大補湯を投与し、主治医判断および客観的評価で検討した。前者では十全大補湯の投与で副作用の軽減がみられた症例が経験されたが、後者では投与群と非投与群には差はみられなかった。
- 5 BBN誘発マウス膀胱癌に対する発癌阻止に関する十全大補湯の効果：C57Blackマウスでの検討ではBBNによる早期の発癌率は抑えられる傾向がみられた。